

政策評価調書(30年度実績)

政策名	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～	政策コード	I-1	関係部局名	福祉保健部、商工観光労働部、土木建築部
-----	--	-------	-----	-------	---------------------

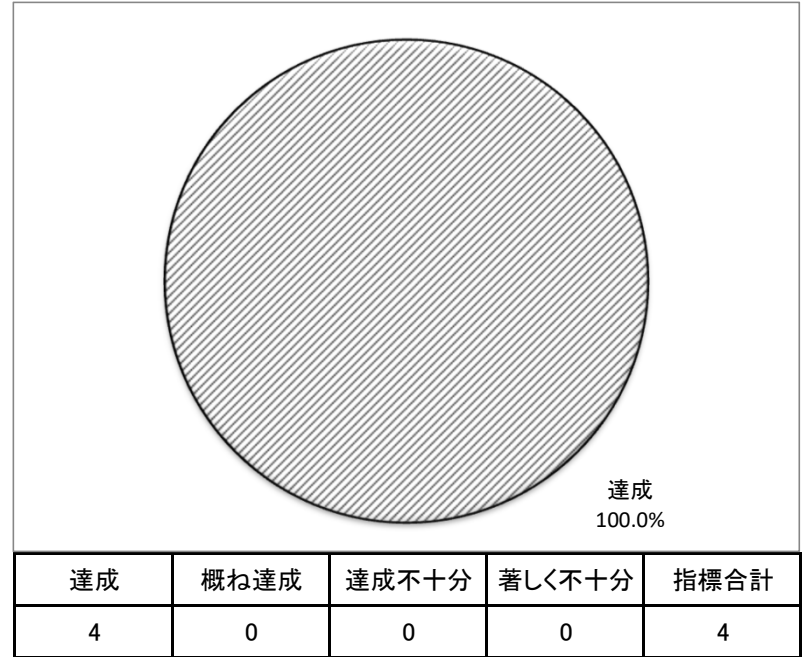
【Ⅰ. 政策の概要】

子育てに係る経済的負担の軽減、地域の実情に応じた子育て支援の充実、男性の育児参画の推進など、社会全体で子育てを支える環境を整備するとともに、児童虐待の未然防止や子どもの貧困対策、障がいのある子どもと家族へのきめ細かな支援、出会いから結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援などにより、県民の子育ての希望を実現する。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備	達成	A
2	きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援	達成	A
3	結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進	達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

国においては、急速な少子化の進行並びに幼児期の教育及び保育の重要性に鑑み、R1年10月から幼児教育・保育の無償化を開始し、総合的な少子化対策に取り組むこととしている。

大分県が実施した子育て家庭に対するアンケート調査によると、理想の子ども数の平均が2.77人に対し、子どもの数の平均は2.17人と、理想と現実の間には大きなギャップが生じている。

そのため、本県においても、保育料の減免拡大や育児休業の取得支援等、「第2子の壁」の解消に向けた取組を推進するとともに、教育・保育施設や放課後児童クラブの受入児童数の拡大、保育士等の人材の確保・養成や質の向上、各種子育て支援サービスの充実が必要である。

また、児童虐待の防止をはじめ、子どもの貧困対策や里親等委託の推進、ひとり親家庭への支援等、きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援を充実させていく必要がある。

更に、少子化の一因である晩婚化や未婚化の対策として、出会いサポートセンターの運営を強化するなどの婚活支援を行うとともに、安心して妊娠・出産できる体制の整備等、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を充実させていく必要がある。

「おおいた子ども・子育て応援プラン」に基づき、NPOや企業、国・市町村と引き続き連携しながら、子どもを産み育てやすい環境づくりを充実させ、子育て満足度日本一の実現に向けて努力していく。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—